



# 羽ばたけ

令和元年9月26日 <第8号>

## エアコン設置とグラウンド改修が終わりました

北海道でも夏場は30度以上を記録する日は珍しく無くなりませんでした。オホーツク海側でも5月に真夏日を記録することがあります。小清水町も例外ではありません。これまで、小清水小学校の各教室には扇風機が2台ずつ配られて夏場をしのいでいました。外気温が25度以上の時は、子ども達の熱気で教室は30度を超すことが珍しくありません。

そのような状況を勘案し、エアコン設置が予算化され、夏休みを利用して工事が始まりました。設置業者のみなさんは、夏休み終了に間に合わせようと酷暑の中を工事してくださいました。おかげさまで2学期からは、暑さや湿気が無い空調の効いた環境で授業ができています。感謝の気持ちは、日常のあいさつや行動で示せるようにしなければいけません。



涼しい教室で熱のこもった授業

グラウンド改修も一部芝生の敷設工事を残して終了しました。グラウンドに埋まっていた石やゴミ等を取り除き、水はけの改善のための暗渠を入れて、新しい土を入れ替えていただきました。9月2日(月)の朝、全校朝会を開き引き渡し式を行いました。施工業者の代表の方からのご挨拶の言葉をいただき、児童会長の御礼の言葉、最後にドローンによる上空からの写真撮影を行いました。

新しく色を塗り替えた遊具は学校側に移り、走り幅跳び用の砂場も鉄棒の前に移動してきました。さっそく、できたての新しいグラウンドを使ってマラソン大会の練習が始まっています。



児童会長の感謝の言葉



臨時の全校朝会でグラウンド引き渡し

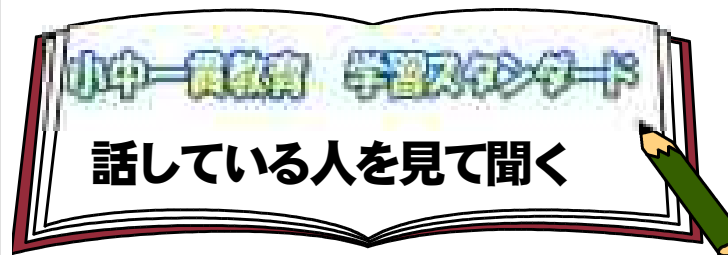
## 学習・生活スタンダードの紹介

学習・生活指導の継続性でめざす教育効果は?

小清水小学校と小清水中学校は、学習の指導方法・生活の指導方法を小中一貫して9年間継続しています。学年間、学校間の接続を強め、9年間の児童生徒の育ちを円滑にするため、指導方法を一貫して継続しています。

すべての学年、すべての教師が、様々な場面で共通した指導をすることで、基本的な学習・生活態度や集中力を培い、児童生徒の学習や生活の基盤となります。

学習・生活スタンダードでめざすものは、「児童生徒の豊かな学びの保障」と教師が一丸となって目標に向かい、児童生徒や保護者・地域から「信頼される学校づくり」です。



話の聞き方のルールは、

### 1 話している人の方を見て聞く

1対1で話を聞くときに、よそを向いていたり、何かをしながら聞くのは失礼な態度です。1対多数の多数側で話を聞く場合でも、自分に話してくれているのだから「話している人を見る」のは当たり前です。

### 2 うなずいたり、あいづちをうったりして聞く

話を聞いていて、共感できればうなずくのはとても自然な動作です。聞いている人もうなずいてくれると話がしやすくなります。

### 3 正しい姿勢(「ぐう」「べた」「びん」)で聞く

常に良い姿勢を求めるわけではないですが、話を聞くときは「ぐう」「べた」「びん」で聞く約束です。



学校には自分以外に多くの方がいます。

つまり、「話すこと」=「誰かに伝える」ことなのです。教室や体育館で伝える事他に、全校集会で説明したり、校内放送のアナウンスも「伝える」ことです。下を向いて話すよりは、顔をあげて、できるだけ伝える相手を見たり、意識したりして話す方がよく伝わります。

授業中の発表は、先生だけに話すのではなく、クラスみんなに話す意識をさせます。伝える相手が誰なのかを意識して話すのとただ発表するのとでは、伝わり方が違うと実感しないことにはなかなか話し方は身につきません。

習慣になるまで、繰り返し指導するのが教師の役割です。



## 第2回漢字検定

検定料は児童の学力及び学習意欲の向上のために、町から全額助成されます。

申し込み希望者が少ない場合は実施できないことがあります。実施が決まりましたら、日程等の詳細をあらためて受験希望者にお知らせいたします。

10月26日(土) 13:00~14:15

今後、第3回の漢字検定を予定しています。期日が近くなったらご案内をいたします。

何級を受験したら良いのか迷っているご家庭は、日本漢字能力検定のホームページの「受験級の目安チェック」を参考にしてみてください。



## 1年生の原生牧場&JR乗車体験

1年生の生活科は、自分自身と学校・家庭・地域とのかかわり方やそれに伴う表現技法を学ぶ学習です。この原生牧場とJR乗車体験の学習もその中の一つになります。

### ねらい1 地域への愛着

地域の人々や場所に親しみや愛着をもつことができるようになる学習です。これまでは、校区を探検したり、公共施設を探検したりしています。そして今回は、公共交通機関であるJR乗車体験という活動が設定されたということです。



### ねらい2 公共の意識とマナー

みんなで使うものや場所、施設を大切に正しく利用できるようにする学習です。つまり、学校では日常的に身につけていることを学校の外でもやってみるという活動です。写真は、JRの職員の方から列車の乗り方等の説明をうけ、お行儀良く座っている場面です。あいさつやお礼はできたでしょうか。



### ねらい3 身近な自然との触れ合い

身近な自然を観察したり、生き物を飼ったり育てたりするなどして、自然との触れ合いを深め、生命を大切にできるようにする学習です。子ども達は、普段触れることができない動物たちの息づかいや温かさを感じることができました。



この学びの成果は、今後、文字や絵で表現されることでしょう。これも大切な表現技法の第一歩となります。

## PTA研修委員会 給食試食会



恒例になったPTA研修委員会の給食試食会が開かれました。

ここ数年間は、教室が暑かったという感想が多かったのですが、今年は、過ごしやすい室温の中で栄養教諭からの説明と給食試食が行われました。

たくさんのご意見や感想をいただきました。

施設・設備・食器の数などの限度があるため、中学校の修学旅行の日程に合わせて、低学年限定で実施されています。

そのような事情がある中での実施ということをご理解いただいた上で、みなさんの声を、来年度に生かして行きたいと思えます。



## お知らせ

オホーツクPTA連合会研究大会が11月9日に斜里のゆめホールで開かれます。小清水小学校は、学会と日程が重なるため、ご案内のみとしています。参加希望・申し込みがある場合には、受付を行いますので学校までお届け下さい。

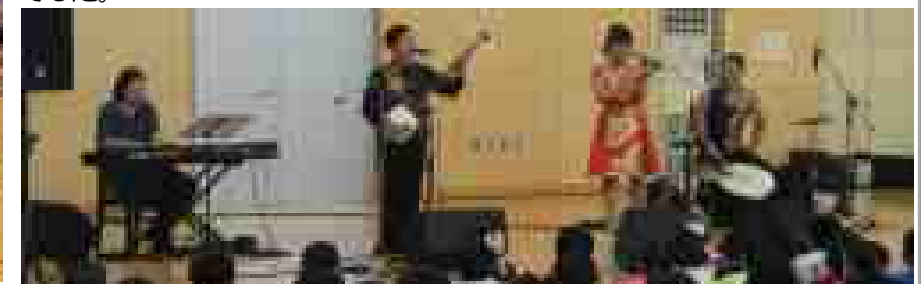
## 民謡和楽器バンドEzo'n



小清水町文化協会様のご紹介で、小清水小学校体育館で民謡和楽器バンドEzo'n 公演が実現しました。昨年度に引き続き、2年連続の公演です。

昨年は、楽器の素材や種類などをクイズにしたり、太鼓などを叩いたりする体験活動がメインの和楽器音楽教室の要素が強かったのですが、今年は楽曲演奏中心のライブパフォーマンスでした。三味線と太鼓のリズムやボーカルの竹野留里さんの迫力ある歌声に魅了され、さらに合間の楽しいお話にも乗せられて、子ども達と演者さんの一体感のある大合唱も聞くことができました。

あらためて、本物に触れる大切さと楽しさを味わうことができた公演でした。



## オホーツク東部地区PTA連合会 母乳研修会のお知らせ

【日時】  
令和元年 11月2日(土)

【講演】  
「野生動物の子育てを通して」～母性とは～

【講師】  
竹田津 実 氏

小清水町農業共済組合・家畜診療所に獣医師として従事。映画「キタキツネ物語」の企画・動物監督をはじめ、写真家、エッセイストとしても活躍。

【会場】  
小清水町「愛ホール」

## お願い

小清水町PTA連合会主催の講演会です。子育てをしている私たちのための講演会ですのでたくさんの参加を期待しています。参加申し込み等は10月に集約します。託児の設置も予定しています。





# 羽ばたけ

令和元年10月3日 <第9号>

## 子ども達の現状と未来を見据えた小中一貫教育

小清水小学校長 可児 隆洋

### 1 新しい学習指導要領と小中一貫教育

これからの社会は、グローバル化や人工知能・AIなどの技術革新が急速に進み、予測困難な時代と言われています。これからの子供たちに求められる力は、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り拓いていく力です。

そのような「生きる力」を育むための小学校の新学習指導要領が次年度（令和2年度）から実施されます。新学習指導要領の中では、学校段階間で連携して指導することが求められています。幼小接続や中高一貫と併せて、小中連携・一貫教育についても全国で取り組みが求められる事になりました。小中連携・一貫教育の取り組みが進んだ理由の一つは、子どもの発達を早期化してきたことで、6年と3年で区切ることが実態に合わなくなっているという指摘でした。しかし、この区切りを変えるのは容易ではないため、6-3製の制度は原則維持し、教育の内容を柔軟に考えていく方向に向けたのが小中連携・一貫教育です。

### 2 小中一貫教育で解決をめざす課題

現行6-3製の課題としてあげられたのが、「中一ギャップ」と表現されたものです。中学校になると急に不登校やいじめ・問題行動が起こりがちになると言われ、「生徒指導上の中一ギャップ」と表現されました。さらに、小学校の学級担任制から中学校の教科担任制への変化、単元テストから定期テストへの量と範囲の変化、評価・評定の変化、これらが「学習指導上の中一ギャップ」です。文部科学省は、これらのギャップ解消のために小中一貫教育を推進しています。

さらに現在では、義務教育9年間を見通し、児童生徒の発達の段階に応じた「学級担任制と教科担任制のあり方」や、「習熟度別指導の在り方」など、今後の指導体制の在り方が議論され始めました。

### 3 小清水町の小中一貫教育

さて、小清水町に目を向けてみます。小清水町は町内6校再編統合と時を同じくして、小中一貫教育に向けての準備を始めました。次期学習指導要領改定を見定めての事であり、非常に先進的な取り組みだったと言えます。

小中一貫教育導入直前までは、6年生教室を中学校に設置することで、発達の早期化による「生徒指導上の中一ギャップ」を解消し、6年生から教科担任制を導入することで「学習指導上の中一ギャップ」を解消することを目標に掲げました。しかし、説明・協議が重ねられた末、6年生教室の中学校設置は時期尚早であり、実現は容易ではないとの意見が多く、実施は見送られ、方針転換することとなりました。

今日的な教育動向の視点から考えれば、当時の考え方や取り組みは、子ども達の現状と未来を見据えた先見性のあるものであったことは、ご理解いただけたと思います。

新学習指導要領実施が半年後に迫り、小中一貫教育導入後3年が終わろうとしています。あらためて2020年からの学校教育の変化・子ども達の学びの進化を踏まえた小中一貫教育は、子ども達の現状と未来を見据えた考え方と取り組みであることを再認識しながら、教育活動を実践していきたいと思っています



日	曜日	10月の行事予定	下校バス	
			14:45	16:00 16:10(金)
1	火	委員会① 特別日課	特14:35	○
2	水	1・2年視力検査 フッ化物洗口	○	○
3	木	3・4年視力検査	○	○
4	金	5・6年視力検査 卒業アルバム個人写真撮影	○	16:10
5	土	土曜授業⑥ 3時間授業 卒業アルバム個人写真撮影	特11:50	×
6	日			
7	月	全校朝会 就学時健診	○	○
8	火	クラブ⑥	○	○
9	水	フッ化物洗口	○	○
10	木	ヤッホータイム	○	○
11	金	6年中学校登校日⑤	○	16:10
12	土			
13	日			
14	月	体育の日		
15	火	委員会② 特別日課 1~3年二計測 第2回小清水町学校運営協議会	特14:35	○
16	水	4~6年二計測 フッ化物洗口 小清水町くらしの安全住民大会18:00~	○	○
17	木	後期児童総会 スクールバス乗車指導 教育委員学校訪問 団体図書入替	○	○
18	金		○	16:10
19	土	土曜授業⑦ 5時間授業(給食なし、お弁当持参) 特別日課 中学校文化祭合唱コンクール参観(5・6年)	特14:35	×
20	日			
21	月		○	○
22	火	即位礼正殿の儀		
23	水	フッ化物洗口	○	○
24	木		○	○
25	金	学芸会 特別日課(～11/8)	○	16:10
26	土	1学年レク9:00～11:30 第2回漢字検定(会場:中学校)		
27	日			
28	月		○	○
29	火		○	○
30	水	フッ化物洗口	○	○
31	木		○	○



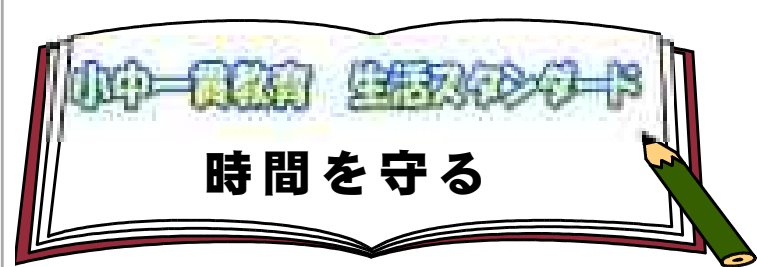
# 学習・生活スタンダードの紹介

学習・生活指導の継続性でめざす教育効果は?

小清水小学校と小清水中学校は、学習の指導方法・生活の指導方法を小中一貫して9年間継続しています。学年間、学校間の接続を強め、9年間の児童生徒の育ちを円滑にするため、指導方法を一貫して継続しています。

すべての学年、すべての教師が、様々な場面で共通した指導をすることで、基本的な学習・生活態度や集中力を培い、児童生徒の学習や生活の基盤となります。

学習・生活スタンダードでめざすものは、「児童生徒の豊かな学びの保障」と教師が一丸となって目標に向かい、児童生徒や保護者・地域から「信頼される学校づくり」です。



主な指導場面は授業開始です。給食や掃除の時間も、いろいろな行事も含まれます。時間を守るようにする指導はどのような「ねらい」があるのでしょうか

### 【時間を守る子を育てるねらい】

- ①計画性（時間の管理ができる人を育てる）
- ②主体性（自分で判断して行動できる人を育てる）
- ③信頼性（社会のルールを守って行動できる人を育てる）

子ども達に時間を守ることを求めるのですから、先生方も授業開始に遅れないようにしています。先生方にとっては、授業に熱が入ってしまいがちで、授業終了時刻を守る方が難しいかもしれません。

下校時刻についても再確認しました。**5時間授業⇒14:40**、**6時間授業⇒15:35** この時刻を境に、放課後児童クラブ室と共通した指導を連携して行います。

具体的な指導としては、下校時刻になったらグラウンドや遊具使用をやめ、「児童クラブ室屋内活動」、「徒歩下校」、「バス乗車準備」、「お迎え待ち」のいずれかの立場をはっきりさせて、次の行動に移ることとします。



中学生は教室移動を済ませて、チャイムが鳴る前に座っています。

### 【お詫び】

8月30日付けで発行いたしました「8月号学校だより」の学校連協議会委員の名簿に誤りがありません。心より深くお詫び申し上げます。今後、発行前の確認を徹底するなど細心の注意を払ってまいります。書面ではありますが重ねてお詫び申し上げます。

正しい名簿は以下の通りです。

役職	氏名	所属	部会	役職	氏名	所属	部会
会長	八木 勝正	スポーツ協会副会長	学校支援	委員	苅込 洋一	小PTA会長	学校評価
副会長	十河真理子	主任児童委員	学校評価	委員	白鳥 裕美	中PTA会長	学校評価
委員	久光 和行	文化協会会長	学校支援	委員	可児 隆洋	小学校長	学校評価・広報
委員	今城 政則	自治会連合会理事	学校支援	委員	時田 雅子	小学校教頭	学校支援
委員	奥村 豊和	社会教育委員長	学校支援	委員	齊藤 修	中学校長	学校評価・広報
委員	梅田 照子	主任児童委員	学校評価	委員	馬場 浩哉	中学校教頭	学校支援
委員	瀧口 顕	社会福祉協議会事務局長	学校評価				

《敬称略》

# 修学旅行は「学ぶ事」がいっぱい！

修学旅行を計画するにあたり、たくさんの「学び」の要素を取り入れます。日常的な教科の学習や総合的な学習の時間、道徳等、実施のねらいや指導内容を可能な限り修学旅行の体験活動と関連付けているためです。

動物園見学も、その中の一つです。「総合的な学習の時間」の調べ学習のテーマとしての目的をもって見学をきています。

博物館の見学では、北海道の自然環境や文化財について学び尊重する態度も求めます。内容的にはまだまだ難しいものが多いのですが、展示方法が工夫されているので小学生にも十分に学びの要素がたくさんありました。

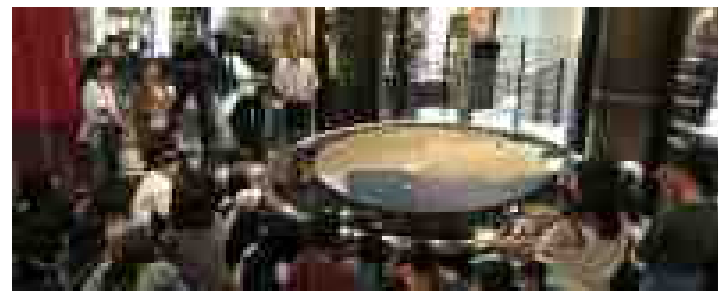
自由行動のイオンの中の目的は、買い物体験を通して「望ましい態度」や「習慣」、「集団行動の規律を尊重する態度」を身につけることがねらいです。

事前指導では、修学旅行の目的を「旅行中のいろいろな場面で、学校で学ぶ事を学校の外で発揮すること」と位置づけています。事後指導では、旅行中の学習や行動について自己評価し、学習した内容を工夫して発表します。

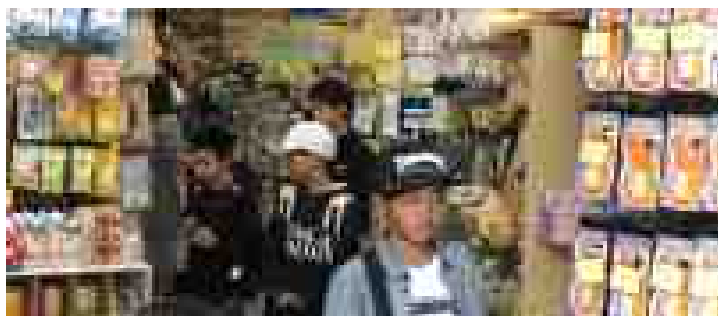
修学旅行は、出発前からも、帰ってきてからも「学ぶ事」がいっぱいです。この学びを通して、6年生は一回りも二回りも成長をしていきます。



テーマに沿った動物の観察



博物館での学芸員さんからの説明



イオンでの買い物も体験学習です

## 合同研修(9/27 中学校実習公開日)



小学校の先生に囲まれて、くっく・べた・びん



小学校の先生方にとっては、基礎学力の定着が気になります。

## 土曜授業で文化祭(合唱コンクール)見学

小中一貫教育校ならではの取り組みとして、5・6年生に限って、中学校の文化祭(合唱コンクール)を見学することになりました。

中学校の文化祭では毎年、素晴らしい合唱が発表されています。学芸会を控えた5・6年生にはぜひ先輩達の素敵な歌声を聞かせたいということで年間計画にいれました。

### お願い

給食時間の関係で、「給食あり土曜授業」に設定できません。お手数をおかけして申し訳ありませんが、当日のお弁当の用意をお願いします。また、土曜授業としたため、兄弟間で午前中の舞台発表や合唱コンクールを見たいのに、見られなくなるというケースもでてきます。

小中一貫教育をさらに推進するための試みですので、ご理解をいただきたいと思います。

詳細については、後日改めて文書にてお知らせします。